

# イチ推し

I Chi O Shi

vol. 6

ちはら台  
・ 潤井戸

地域の魅力を引き出す、  
人のチカラ



イチ推し制度詳細はこちら

## 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ちはら台地区自治会連合会.....               | 2P |
| 水の江っ子広場<br>清水谷ミラズ.....          | 3P |
| ちはら台TENT.....                   | 4P |
| みらいサポーター<br>ちはら台走友会.....        | 5P |
| 帝京平成大学<br>女子サッカー部/@SOVIVA!..... | 6P |
| ちはらウインドアンサンブル<br>八幡屋ふれあい広場..... | 7P |
| 協力店のご紹介<br>イチ推しお知らせコーナー.....    | 8P |

地域で活躍する方々を「もっと多くの方に知ってもらいたい」「一緒に活動する方が増えてほしい」という思いを込めて発行される「イチ推し」。今号はちはら台地区とその周辺の潤井戸を中心に活躍される皆様をご紹介します。

ちはら台地区は、市原市の中でも若年層が多く高齢者が少ない、また人口密度が高い地域です。比較的新しいまちではありますが、世帯数は10,000世帯を超え、当初から自治会が力を合わせ、まちを守ってきました。今では、その自治会が連合会となって力を発揮しています。

最近ではちはら台公園に「ちはら台TENT」が、新たなコミュニティ拠点としてオープンしました。全国的に見ても新しく前衛的な公民連携事業として、施設の活用だけでなく、公園でのイベントも企画し、賑わいを見せています。また、ちはら台周辺には帝京平成大学のキャンパスがあり、地域住民の生涯学習や地域社会の課題解決に積極的に取り組んでいます。

ともすれば市外へアクセスする住民が多いちはら台周辺ですが、子どもが多いため、その子どもを守ることで大人たちがつながります。住民たちの目を地域に向け、魅力を感じさせ、そして次世代へとつなぐ。ちはら台周辺はそんな地区です。



# ちはら台地区自治会連合会



ちはら台地区を快適で  
住みよいまちにするために

市原市ちはら台地区は市内で4番目に人口の多い地区で、ちはら台西、ちはら台南、ちはら台東の3つの町丁で

構成されています。1989年に街開きがあり、今年で35年になる街で、世帯総数は10,000世帯を超えます（2024年7月現在）。自治会ごとにそれぞれ活動していますが、その自治会をまとめる「ちはら台地区自治会連合会（以下連合会）」が存在してい

ることも特徴の一つです。連合会には現在28の自治会が参加し、会員数は6,500世帯を超えています（2024年1月現在）。ちはら台コミュニティセンターの横に事務所があり、4人の事務員が運営の補助を担っています。

ちはら台地区は当初「千原台」としてひとつのまとまった地区でしたが、現在の「ちはら台西、東、南」に分けられ、そのタイミングで、より良いまちづくりのために連合会が設立されました。連合会としての最初の活動はいさつ運動で、子どもたちの登校時間にあわせて朝の挨拶をします。年に2回、春と秋に開催しているこの運動は今も継続されています。

あくまでも  
サポーターとしての位置づけ

「連合会の役割は、各自治会を取りまとめて何かを「させる」のではなく、あくまでも各自治会のサポートをすること。大きな方針を決めたりすることはあるけれど、基本は各自治会が抱えている懸案事項の解決のため、行政への依頼や、それに関わる手続きなどを行ったり、各自治会からの声を聞き、問題解決のために存在しているのです。」と、会長の斉尾さんは話します。そのために定期的に役員会・会長会を開催し、各自治会が抱える問題点などを共有し、スピード感を持って問題解決に導いています。

例えば煙草の吸殻がポイ捨てされているという自治会からの情報を、他の自治会へ共有します。小さなことですが、ちはら台全体の問題として共有す

ることで問題意識を持ってもらい、少しでも環境の良い街を目指すことができます。

また、単独の自治会にて活動していることを共有することで、良い活動の情報を知ることできます。そして、連合会では、地域の活性化のため、各自治会に「イチ推し参加団体」への登録を勧めており、現在14自治会が登録して制度を利用しています（2024年9月現在）。

連合会は各自治会のサポートの他に、ちはら台地区全体の活動に関する取り組みもしています。市原市で初となる「ゾーン30プラス」は県内でも2市目で、連合会からの働きかけで実現したものです。また、防犯カメラも地域内に30台設置しています。

毎年恒例となっている「ちはら台市民夏祭り」も今年20回を迎え、「笑顔が広がる夏祭り 未来へつなごうちはら台」のスローガンのもと、大盛況のうちに終えることができました。花火打ち上げの時には事前に「ちはら台消防団」の皆さんが放水し、開催中安全を見守ってくれました。

ちはら台地区の自治会をまとめることで更に住みよいまちにすることを目的に設立した「ちはら台地区自治会連合会」は様々な活動を行い、ちはら台地区を快適に住みよい環境にするために日々邁進しています。



1.ちはら台市民夏祭り 2.あいさつ運動 3.防災訓練 4.ゾーン30プラス スムーズ横断歩道





## 水の江っ子広場



**水の江っ子広場**  
子ども専用広場  
地域の親子会館

毎月第1  
金曜日 13:50~16:00

毎月第1  
日曜日 10:00~13:00

毎月第1  
日曜日 13:00~16:00

対象  
水の江自治会館 地域の子も達と大人たち

090-2459-1124 担当：山本

協力：ばばな（おむつ）/ひまわり（おむつ）/ひまわり（おむつ）



1.活動の案内 2.みんなで協力して新聞紙テントの作成 3.地域の人に竹馬乗りを教わりました（異世代交流）

水の江っ子広場は、現在、市内でも児童数が多く、子育て世代が集まっているちはら台に、【子ども達自身で遊びを深められる場所】そして【遊びから地域交流もできる場所】を子どもと一緒に作りたい！という想いを持つママ2人で始めた遊び場です。

イメージは親子が安心できる「昔ながらの児童館」。最初は名前も無いままのスタートでした。

遊び場で子どもたち自身が楽しみたい事、挑戦したい事などみんなで意見を出し合い、子ども達が企画して行く中で、まずは地域の友だちに親しんでもらいたい！と、名前を【水の江っ子広場】と決めました。

水の江っ子広場は、水の江自治会館を拠点に毎月第1日曜日と第

1金曜日の午後に活動しています。日曜日の午前中はみんなが作りたいカレーを作って食べて楽しむという「水の江カレー屋さん」を開催、午後は「わくわく楽しいランド」として、子どもたちが企画した遊びやトランプ、けん玉、お絵かき、ボードゲームなどを楽しんでいます。企画は自由参加で、自分の好きな時間を過ごすことができる場所です。

子ども達の興味が広がり、近所の方に折り紙や竹馬、紙飛行機を教えてもらう楽しい経験もできるように取り組んでいます。

今は簡単クッキングやものづくり、将棋など好きなことや得意なことを通して子どもたちと一緒に楽しんでくれる方を募集中です。

■水の江っ子広場 活動場所：ちはら台東 1-13-4 ちはら台水の江自治会館

■お問い合わせ ※右記二次元コードを読み込み、InstagramのDMにてお願いいたします



## 清水谷ミラズ



1.清水谷ミラズの皆さん 2.メンバーで交流を深めます 3.翼リーグでの試合の様子

今年10周年を迎える「清水谷ミラズ」。来年からは「ミラズ」としてユニフォームも一新、さらに、活動の幅を広げていきます。30代40代を中心に、最年長は58歳。中・高・大学生に教師も入り、総勢42名の草野球チームです。

結成は、ちはら台地区の小学校のPTAによるソフトボール大会「ちはら台地区6校大会」がきっかけでした。その時に清水谷小学校のチームは優勝を収め、「このまま解散するのはもったいない」とユニフォームを作ってチームにしました。

小学校のグラウンドで毎月第2日曜日に練習、その後も好成績が続き、ソフトボールから野球へ転向しました。楽しい雰囲気の中、チームの皆さんは大きなけがもなく、長く健康的に続けられています。昨年

には「翼リーグ」にも加入し、月には2回試合をしています。

「小学生の子を持つ父親」というのは、同じ立場にあってもなかなか知り合う機会がありません。そんな中、清水谷ミラズは「小学生のパパ」同士、交流を深めています。10年も続いていると、それが「中学生のパパ」「高校生のパパ」ともなり、息子と共に練習に参加することもあるそうです。

場所を借りている小学校への恩返しをしたいという気持ちから、学校行事のお手伝いもしている清水谷ミラズ。夢はZOZOマリンスタジアムを借りて試合をすることだとか。マネージャーも募集中です。清水谷ミラズ「改め」ミラズは世代を超えて、今後も楽しく続いています。

■清水谷ミラズ 活動場所：ちはら台南 5-2 清水谷小学校

■お問い合わせ 代表：中野 電話：090-2405-0222 メール：justnakano@gmail.com





# ちはら台TENT



「ちはら台TENT」は、今年、2024年6月に誕生したばかりです。民間企業である大和ハウス工業株式会社が、公園内で飲食やイベントなどのサービス提供を行う施設の設置と、その管理運営を行なっています。ちはら台公園と周辺地域の活性化や、公園の魅力をさらに引き出すためにつくられました。新たな公民連携の形とも言える「ちはら台TENT」ですが、その名前には「縁

(EN)」、つまり人と人をつなぐといった思いが込められています。「地域の誰もがふらっと立ち寄れる場所を作りたい」「地域をつなぐプレイヤーが集う拠点でありたい」「立ち寄った先で生まれる世代を超えた「縁」を大切にしたい」と、運営を担うちはら台TENTは掲げ、その言葉通り、数々の仕掛けを施しています。施設内には、かねてから市内でご活躍



1



3



2

のテナントが3軒入り、飲食可能なコミュニティスペースが30席あります。コミュニティスペースの隣にはキッズスペースも設置され、子どもを遊ばせながら、コーヒーやスイーツ、軽食を楽しむことができます。また奥にはシェアスクールのスペースもあり、「TENT SCHOOL」という名でどの世代も楽しめるクラスが開催されています。ヨガ、ダンス、幼児教室など、既に20種類近くのレッスンが行われておりますが、さらに講師も生徒も募集中だそうです。ちはら台TENTの取り組みは室内だけでなくとどまりません。公園でのイベントも多数仕掛けています。6月8日に行われたオープニングイベントには、地元飲食店や地域で活躍する団体のワークショップの出店他、ステージで地元の小中学校のダンスや演奏が行われ、3,000人を超える人が来場しました。定期開催されるフリーマーケットは、「服」「ワンちゃん」「おもちゃ」など、毎回テーマがありその時々によつ



4

て様変わります。その他、ちはら台TENTができる前から開催されているアウトドアフェスタや、夏休みにはプチ縁日や水鉄砲イベント、ナイトピクニックなどイベントは目白押し。地域の方々と共に結成したちはら台を盛り上げるまちづくり推進団体「みらいサポーター」や、テナントの協力を得て、公園を最大限活用しています。オープンして間もないちはら台TENTですが、勢いは増すばかり。その先には、20年後のちはら台地区全体へのビジョンがあります。若い世代が絶えないまちであるために、「20年後も子育てをするために帰ってくるまち」を思い描いています。そのためには「子育てしやすい環境」だけでなく、大人になった今の子どもたちが「ここであんな楽しいことをしたな」「あの人にお世話になったな」と思い出す、「縁」を作る必要があるということです。ちはら台TENTは、ちはら台地区の未来を見据え、多くの人の「縁」をつないでいます。



5

1.外から見たちはら台TENT 2.ちはら台TENT内。飲食可能なコミュニティスペースは30席 3.オープニングイベント。ちはら台公園には3,000人を超える来場者数 4.TENT SCHOOLのひとつ、ヨガのクラス 5.夏休みに行われたプチ縁日

■ちはら台 TENT 所在地: ちはら台西 3-3 ちはら台公園内

■営業時間: 10:00 ~ 18:00 ※季節によって変わることがあります

■お問い合わせ 担当: 田中 メール: chiharadai@daiwahouse.jp ※右記二次元コードを読み込み、サイト内お問合せフォームよりお願いいたします







## みらいサポーター



ちはら台公園やちはら台TENTを拠点として活躍しているのが「みらいサポーター」です。「20年後も安心して子育てができるまちづくり」をテーマに、下校時の見守りや、ちはら台公園で行われるイベントの協力、独自に企画している「公園の木に名前をつけよう」など精力的に活動しています。

少子高齢化、人口流出という課題はちはら台地区も例外ではありません。その中で若い世代に、どうやってこのまちに戻ってきてもらうのか。それは、「ここであることをしたな、こんなことがあったな」という温かな瞬間作りだといえます。その瞬間が積み重なって「ここがふるさとでよかった」という気持ちになり、子どもたちが孫子を連れて帰ってきて「公園の木に名前をつけよう」も将来ふるさとに帰ってきた子どもたちが、名付けた木を眺めることを想像してのイベントだそうです。



1.下校時の見守り。道を渡る児童はみんな笑顔  
2.「公園の木に名前をつけよう」の様子  
3.竹の水鉄砲の使い方をレクチャー

下校時の見守りをしていると、子どものSOSに気づくこともあります。小さなケガにばんそうこうを貼ってあげたり、仲たがいを取り持ったり、そうやって手を差し伸べることで、信頼関係が結ばれます。そして、そのようながりがまち全体に広がれば安全なまちになるはず、と会長の大木さん。

「子育て」ではなく「子育て」であり、子どもは育てられると同時に自らも育とうとしています。そこを援助したい、というみらいサポーター。20年後を見据え、温かな瞬間作りを重ねるみらいサポーターの活動は、まだ始まったばかりです。

■みらいサポーター 活動場所：ちはら台西 3-3 ちはら台公園内ちはら台TENT

■お問い合わせ 会長：大木 電話：090-2405-0222（中野） ※右記二次元コードを読み込み、サイト内お問合せフォームよりお願いいたします



## ちはら台走友会



ちはら台には「かずさの道」という全長約4kmの遊歩道があります。通りの両側には桜の木が植えられ、地域の憩いの場となっています。

そんな「かずさの道」をメインに走っているのが「ちはら台走友会」です。発足は1993年11月。30年以上の歴史があり、当初5名からスタートしたメンバーも今では42名まで増え、30代から80代と幅広い年齢層の方が活動しています。

普段は定例走として毎週土日に集まったメンバーと一緒に走りながら、色々な大会に参加するために調整しています。主な大会として、長柄町営駅伝大会、茂原緑ヶ丘リレーマラソン、青葉の森リレーマラソンなどに参加し、華々しい成績を残しています。

走ることが目的で集まっている走友会ですが、地域のための活動も盛んで、「自分たちが走る場所は自分たちできれいにする」と



1.2024年茂原緑ヶ丘リレーマラソン、熱年の部で1位  
2.2024年青葉の森リレーマラソン女性部門で6位入賞  
3.年末恒例のお礼参りランでは近隣31箇所の神社仏閣を巡ります。階段があるのがきつい

いうことで、年に4回、かずさの道の清掃活動を行なっています。始めたときはポリ袋にたくさん集まっていたゴミですが、徐々に減少し「きれいなところにはポイ捨てしにくい」という効果が出てきています。また、子どもたちを見守る防犯パトロールにも一役買っていて、「ジョグパトロール」と書かれたおそろいのビブスは、ちはら台地区自治会連合会協力のもと揃えたものです。

地域でのイベントで出店しているフランクフルトやかき氷はいつも完売。クリスマスにはサンタクロースに扮して子どもたちにプレゼントを渡しているのですが、一緒に写真を撮ってほしいと頼まれるほど大人気です。

■ちはら台走友会 活動場所：かずさの道 電話：0436-52-7074

■お問い合わせ 会長：佐藤 メール：chiharadaisoyukai@gmail.com





# 帝京平成大学女子サッカー部 ボランティアサークル @SOVIVA!



サッカーの巡回指導だけでなく、  
まちのクリーン活動から、  
農作業のお手伝いまで

帝京平成大学には、地域貢献活動を積極  
的に行う部・サークルがあります。その中  
でも女子サッカー部の取り組みは、多岐に  
わたります。サッカー部ならではのチーム  
プレー、役割分担、効率を考えた無駄のない  
動き、自ら率先して工夫をし、市原市中  
の様々な受け入れ先で活躍しています。

そもその発端は、2021年の6月に  
部員がクリーン活動を始めたことだそう  
です。その活動は継続しており、今では4年  
生が主体となって、ちはら台、うりいど周  
辺で行なっています。

クリーン活動を始めた後、もっと地域  
とつながりたいという意欲が生まれ、幼

稚園・保育園など未就学児へのサッカー  
の巡回指導が始まりました。こちらも、  
2023年、2024年と市内9か所を巡  
り、継続しています。

市原市役所農林業振興課からの斡旋で、  
梨の摘果作業のお手伝いや、里山保全活動  
のお手伝いをすることもあります。地域の  
特産品を販売する無印良品の「つながる  
市」では各出店者さんのお手伝いをし、呼  
び込みやチラシ配布など、販売のお手伝い  
もしました。

女子サッカー部の部員は30人以上で構成  
されていますが、受け入れ状況によって送  
られる人数は変わります。里山保全活動・  
竹林整備では約30名と大勢で望みまし  
たが、摘果作業、販売のお手伝いでは数名  
の参加でした。ひとえに「受け入れ先の  
農家さん」と言っても、様々な想いを抱

れています。その度に、参加する部員がど  
のように感じ、受け止めるか、そして、そ  
こで学んだことをどう今後に活かしてい  
くかが大切です。

“地域を知る”  
“知らないことを知る”ことで  
しなやかで豊かな人生を

女子サッカー部では、半分以上の部員が  
卒業後もサッカーを続ける道を選択しま  
す。担当の中塚さんは「視野を広げ、サッ  
カー以外の軸を持つことが重要」と言いま  
す。社会に出る前から、セカンドキャリア  
について考えるきっかけを持つことで、し  
なやかで豊かな人生を送ることができま  
す。スポーツ以外の自分では飛び込みづら  
い場所へ、今後は外部とのやり取りを含  
め、学生主体でお話を進めていってほし  
い、と中塚さんは語ります。大学としてお  
話を用意するのではなく、学生が自ら動く  
ことで「なぜそこに行くのか」「何のため  
に行くのか」を能動的に考え、地域に溶け  
込んでほしい、そうお話されました。

まだ新しい  
ボランティアサークル  
@SOVIVA!

同じ帝京平成大学で、もう一つ、  
地域貢献活動に積極的な団体があり  
ます。この4月に新設された新しい  
団体ですが、「@SOVIVA!」  
(アソビバ!)と言います。こ  
ちらは作業療法コースの学生が主体と  
なっています。以前からボランティア  
活動をしていましたが、サークル  
化することで、窓口がで、より  
地域活動の幅を広げることになりま  
した。VIVA!には「生きている  
ことを祝う!万歳!」という意味が  
あり、ワクワクするような活動の輪  
を広げようという理念を掲げていま  
す。

人の生活において大切な作業・活  
動を獲得するためのリハビリテー  
ションセラピストである作業療法  
士。医療従事者を目指す学生さん  
は、医療の中だけでなく、暮らしの  
中心になる地域を理解し、自分の役  
割を考える力が必要だそうです。

この夏には市東地域15町会共創プ  
ロジェクト実行委員会の皆さんと  
「歩け歩け探検隊」と称して菅田か  
ら瀬又まで歩き、地域の課題や魅力  
を肌で感じました。また、市津市民  
祭りにも出店。地域住民と触れ合う  
機会が多くありました。

@SOVIVA!の活動はまだま  
だ始まったばかり。今後の活躍が楽  
しみです。



1.部員が主体となって取り組むクリーン活動 2.農作業の様子(ワンドロップファーム) 3.農林業振興課の斡旋による梨の摘果作業 4.市東地域15町会共創プロジェクト実行委員会と共同で行なった「歩け歩け探検隊」 5.市津市民祭りの様子

■帝京平成大学 千葉キャンパス 所在地:うりいど南 4-1 電話(代表):0436-74-5511

■お問い合わせ 女子サッカー部 担当:中塚 メール:nakatsun24@gmail.com

@SOVIVA! 担当:齊藤(作業療法コース) メール:h.saito@thu.ac.jp ※いずれもメールにてお願いいたします

女子サッカー部



@SOVIVA!





# ちはらウインドアンサンブル



きっかけは幼稚園のママ友3人から。全員が楽器経験者だったことから「ママさんブラス」として2005年9月にスタートしました。当時はママ友やパパ（ママ友の家族）で構成されていたが、次第に一般の人にも声をかけ、現在の「一般吹奏楽団」となりました。今は18名（2024年8月現在）の団員にて活動が続いています。

スタート時から続いている定期演奏会は2024年10月14日の演奏会で18回を数えます。

団員の年齢は30代から70代と幅広く、週に1回集まり腕を磨いています。2014年から常任指揮者としてトランペットブレイヤーの中島愛実先生（2024年日本吹奏楽指導者協会千葉県部会理事）を招き、若い感性とわかりやすい的確な指導で楽団のレベル

アップにつながっています。

ちはらウインドアンサンブルは、いろいろなところから演奏の依頼があり、高齢者施設、障がい者施設、イベントなど、定期演奏会以外でも活動しています。

高齢者が多ければ懐かしい曲、お子さんやファミリーが多ければ人気の曲と、ジャンルを問わず客層に合わせた選曲をすることで、聞いてくれる人に喜んでもらえる演奏会を目指しているため、演奏の依頼を多くいただいているようです。



「人数的には今が谷底で、定期演奏会でも団員数に近い人数の応援奏者をお願いしなくてはいけない状況です。演奏をすることで普段のストレス発散にもなり、団員同士も仲が長く週に一回の練習は癒しの時間になっています。」と、長島団長は話します。

「人数的には今が谷底で、定期演奏会でも団員数に近い人数の応援奏者をお願いしなくてはいけない状況です。演奏をすることで普段のストレス発散にもなり、団員同士も仲が長く週に一回の練習は癒しの時間になっています。」と、長島団長は話します。



1. 中島愛実先生指導による練習風景
2. 市民会館小ホールでの定期演奏会
3. 市津公民館でのクリスマスコンサート

■ちはらウインドアンサンブル 活動場所：ちはら台南 6-1-3 ちはら台コミュニティセンター内 電話：0436-50-2312

■お問い合わせ 団長：長島 メール：chihara.wind.home@gmail.com

ホームページ



団員募集



# 八幡屋ふれあい広場



うなぎが美味しいことで定評のあるうなぎ八幡屋の前社長の中村雅人さんが手掛ける「ふれあい広場」では、いろいろなイベントが開催されています。中村さんは「とにかく思いついたことは実行に移さないと気がすまない。自分は地域に世話になっているのだから、その地域に貢献しないといけない。」という思いから、約3000坪の「広場」を作りました。

最初に開催したのは市津菊祭りです。それまで開催していた場所が使えなくなり困っていた菊愛好会の助けになればと、広場を開放しました。その後、菊愛好会の皆さんの協力により広場を管理していただき、毎年の開催につながっています。

広場では、他にも多くのイベントが開催され、昨年は39周年を記念して「39（サンキュウ）ありがとう」



1. 毎年開催されている市津菊祭り
2. ヤマザクラの植樹
3. これからの予定などが掲載されたうちわ



とう祭り」が開催されました。お子さん対象のゲーム大会、メダカすくい、売り切れ御免のうなぎや太巻きずしを始めキッチンカーの出店、ステージではいろいろなダンスの披露、最後には花火の打ち上げなどもあり大盛況でした。また、今年の春には市東、市津、ちはら台をつなぐ「ワンダーフェスタ」に参加。今年は開催日を1週間ずつずらしましたが、今回は3箇所同日開催を予定し、この地域で丸一日遊べるような企画を考えているそうです。

以前、近くを流れる村田川にソメイヨシノを60本近く植樹、今年は100年以上寿命があるヤマザクラを10本植樹しました。

「イベントの開催やサクラの植樹をするのは、地域の子どもたちと地域の皆さんのために「ふる里の思い出」を作って、少しでも「来て良かったな」と思ってもらいため」と中村さんは話します。

■八幡屋ふれあい広場 所在地：潤井戸 1307-20 電話：0436-74-0007

■お問い合わせ 八幡屋（中村雅人） ※お電話にてお願いいたします





## 協力店のご紹介

一緒に地域を盛り上げる「いちほら推し活制度」にご登録をいただいている協力店をご紹介します。



### 有限会社ロングビル

創業 34 周年を迎えたクリナップの水まわり工房加盟店です!お住まいに関することは何でも!不動産・家電・リフォーム・オーダーカーテン等…アットホームなファミリー店舗でイベント出店!お気軽にご相談ください

所在地 五井西 6-37-8

営業時間 11:30 ~ 18:30

TEL 0436-23-9697

定休日 水曜・木曜

クーポン 400 円 OFF \*

イチ推しのポイント 2000 ポイントと交換。

5,000 円以上ご購入の際、ご利用になります。

※ 1 回のご購入で交換できるのは 4000 ポイントまでです。

1,000 円 OFF \*

イチ推しのポイント 4000 ポイントと交換。

10,000 円以上ご購入の際、ご利用になります。

※ 1 回のご購入で交換できるのは 4000 ポイントまでです。

## イチ推しお知らせコーナー

各お知らせの詳細は、市ウェブサイトからご確認ください



### イチ推し Presents

#### 地域活動スペシャルデー開催しました!

リノベーションスクール@市原修了生の星野真人さん、山内恵子さんをゲストにお招きし、地域活動をこれから始めてみたい方やもっと活動の幅を広げたい方などを対象にした講座「地域活動スペシャルデー」を開催しました。

前半はお二人のトークセッション、後半はゲストと参加者が直接意見交換をする交流会を実施、お二人の軽快なトークも相まって、終始和やかな雰囲気で行いました。

また、会場にはイチ推し登録団体紹介ブースを設置、各団体が趣向を凝らした展示を行なって、参加者の注目を集めていました。



参加者全員で記念撮影。それぞれの今後の目標などを書いてもらいました。



ゲストトーク。NG なしの本音トークに、会場は引き込まれていました。



交流会。ゲストや他の参加者と直接意見交換を行い、交流を深めました。

### 団体活動をピックアップ!

活動日 令和 6 年 7 月 28 日

事業名 打ち水大作戦@いちほら 2024

団体名 食ベルノムコウ

昨年好評を博した「打ち水大作戦@いちほら」。今年はちはら台公園に会場を移し、6月にオープンしたちはら台TENTとも協力して、パワーアップして開催されました。

当日は35℃を超える猛暑日でしたが、子どもたちは元気そのもの。100名を超える参加者が、サポート団体さん手作りの竹製水鉄砲などを使って、楽しく打ち水を体感していました。

○団体コメント「去年に続き、今年もたくさんの方にご参加いただき、大変うれしかったです。打ち水を通して食や環境問題に興味を持ってもらい、市原の夏の風物詩として定着できるように今後も頑張りたいと思います。」



2024年9月発行

イチ推し事務局 (市原市 地域連携推進室)

〒290-8501 千葉県市原市国分寺台中央1-1-1

TEL:0436-23-9851 Email:ichioshi@city.ichihara.lg.jp

※掲載されている情報は、2024年9月時点の情報です。内容は変更になることがあります。

